

平成24年 南中学校入学式 来賓祝辞

祝辞

本日、ここに入学式を迎えられた皆さん、入学おめでとうございませう。皆さんの入学を心からお祝い申し上げます。

皆さんには、新しく加わった放射線や武道の教育とともに、この南中学校で、より多くの知識とより健康な体を育てていただきたいと思います。

一生懸命頑張ることによって、素晴らしい中学校生活を送れるものと思います。

先生や父兄、そして周りの人は、皆さんの成長を何よりも喜び、応援していることを忘れないでほしいと思います。

私も、53年前にこの南中学校に入学しました。

当時の状況をいくつか紹介したいと思います。

今の、天皇陛下が4月10日の今日、結婚式を挙げられました。

お二人が、テニスで知り合ったということでテニス部に人気があり、60人近い部員がおりました。私も入部しました。

今と比較しますと、白黒テレビの普及率が20%、冷蔵庫の普及率が5%、電話機や自動車、エアコン等はほとんど家庭には普及していない時代でした。

今は、テレビ、自動車、パソコンや携帯電話が普及し、非常に便利な社会になっております。

この50年を振り返りますと、非常に短かく思いますが、世の中の変化をみると、時代の大きな流れを感じております。変化するということは、喜びと希望を与えますが、その裏には、苦勞と努力があります。

皆さん、これからの50年先を考えて見て下さい。

時の流れは、連続しており、今日の私は、あすも同じ私であります。他の人には変わりません。

これからの自分を、より満足のいく日にするために、今を大切にして、これからの中学校生活を、一杯、勉強や運動に頑張ってくださいと期待しております。

今日までの頑張りがあから、その対価として、これからの喜びや満足感がより多くあることを信じ、努力してほしいのであります。

日本の給料も、50年で5倍ほどに増え、色々な物が購入でき、海外旅行もでき、世界中の出来事も家庭で知ることができる社会になっております。

この様な世の中を、更に、より良くして行くために、皆さんがあります。

この中学校でよくを学び、そして、運動にも頑張ることが、これからの皆さん、一人一人の人生を

より良いものにできると、確信しております。

学ぶことにより色々なことを知り、失敗も少なく色々なことが出来る様になります。

又、いろいろな先人のことが解り、より楽しいことが出来る様になります。

私は、この南中学校を卒業して日立製作所の技能者養成所に入り、3年間の教育後は、新しい

冷蔵庫やエアコンの開発を苦勞してやってきました。55歳で退社し、5年間、大学の通信教育で経済の勉強をしました。その様な中で、早い時に考え、長い間を努力することの大切さを、強く感じました。

新入生の皆さんには、一生懸命学びそして運動し、夢と希望をもって、前に進んで行く強い人になってほしいと、思っております。

最後に、上杉鷹山の言葉を紹介したいと思います。

上杉鷹山は江戸時代に、苦しい藩の状態を、人々の教育や、産業を興すことによつて豊かな米沢藩にした人です。

なせば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり

新入生の皆さんの、これからの大きな成長に期待し、祝辞とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございませう。

平成24年4月10日

佐野市議会議員 小暮博志